

第22回土岐市子ども・子育て会議 会議録

日時 令和4年5月26日（木）

午後2時00分～

会場 市役所 3階 大会議室

【出席者】 山田 利彦 神戸ゆかり 酒向麗羅 中嶋志保 福富 泰岳
加藤 隆浩 小栗 潔子 鷺見 政人 古宮山 綾乃 三宅 裕一
藤田 佳代 近崎 奈保子 松崎 多恵子

【欠席者】 長谷川広和 古川 直利

（敬称略）

（事務局）

ただいまより第22回土岐市子ども・子育て会議を始めさせていただきます。

配布資料確認

1 健康福祉部長あいさつ

本日は、委員の皆様方には大変お忙しい中、子ども子育て会議にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。また日頃から本市の子育て支援施策について、ご協力をいただいておりますこと重ねて御礼申し上げます。本日の会議でございますが、お手元の資料次第にありますように、「第2期土岐市子ども子育て支援事業計画」の3年目を迎えて、昨年度の進捗状況についてご審議をいただくことと、本年秋オープン予定のイオンモール土岐に整備いたします多機能型子育て支援拠点施設の愛称の選定について、ならびに、現在整備を進めております泉こども園の進捗状況につきまして、ご審議、ご報告をさせていただく予定でございます。委員の皆様方から、様々な立場から、様々な視点によるご意見をいただきながら、今後の子育て支援施策の充実につなげて参りたいと考えておりますのでどうぞ忌憚のないご意見を賜りますよう、お願い申し上げまして、開会のごあいさつとさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

2 会長あいさつ

委員の皆様方、この会は子育て支援に関わって、いろいろな団体からと公募とからで成り立っています。今、三つほど大きな議題が上がりましたが、もし時間があれば、それぞれ他の団体の方や市の方に、こんなことをお知らせしておきたいとかPRしておきたいとか、してもらいたいことがありましたら、また、お1人ずつお話を伺わないと、と思っておりますので、その辺の心つもりをよろしくお願ひします。交流の場ということも考えていただきたいと思います。

(事務局)

条例では副会長を置くことが定められており、事務局案といたしまして、保育園長会代表の藤田委員にお願いすることとなります、よろしいでしょうか。

⇒特に意見なく、保育園長会長である藤田佳代委員に決定した。

3 委員及び事務局紹介

名簿の順序で各委員が自己紹介した後、事務局職員が自己紹介をした。

4 第2期土岐市子ども・子育て支援事業計画の令和2年度進捗状況について

(山田会長)

それでは議題4 第2期土岐市子ども・子育て支援事業計画の令和3年度進捗状況について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

説明前に第2期土岐市子ども・子育て支援事業計画についての概要を説明。その後、第2期土岐市子ども・子育て支援事業計画の令和3年度実績について資料1の内容を説明。

(小栗委員)

一時預かり事業で、土岐共同保育所たけのこ園ですが、余裕活用型で行っていますが、資料には載っていませんが、載らないのでしょうか。

(事務局)

令和3年度で計上している数字について、事業の内容としては該当します。今回は交付金の助成対象として補助金を交付したものに限定させていただいているので実数についてはもう少しプラスということです。

(近崎委員)

コロナのことで、園とか学校とかクラスターが起つたりなんかしますね。そういう時に濃厚接触者になつたりして、その学級なりが閉鎖するときに現状はどうだったか。急に園とか学校が休みになつたりすると、親御さんとしては子どもをどうしたらいいかとかだいぶご苦労された方が多いと思うんですが、その辺の現状、よその保育園とかに下の子どもさんであれば預かることが出来たのかその辺をお聞きしたい。

(事務局)

公立園の保育園幼稚園について、その該当事業についてご紹介をさせていただきます。

現在も新型コロナの関係で陽性者の発表がかなり多くあるところです。特に昨年、今年の1月ぐらいから多い状況でございました。全休園というのは、最近はしていない状況ですがクラス閉鎖というのをしている状況です。しかしながら、クラス閉鎖しても検査対象者もしくは陽性者以外の方については、園でお預かりします。心配ではあるが、どうしてもの方、就労状況であつたり、を考え、ただ、保育というよりもお預かりをしております。

園によりますが、預ける方も多少みえました。

5 多機能型子育て支援拠点施設の愛称の選定について

(山田会長)

次に議題5 多機能型子育て支援拠点施設の愛称の選定について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料2に基づき、愛称募集の方法、応募の状況（以下）についての内容を説明。

【応募状況】・全国38都道府県から539件347名の応募があった。

・応募者のうち、最年少は3歳、最年長は86歳。

施設のコンセプトに合っているもの、近隣や他で使われていないものを事務局で抜粋し、委員により選定いただく。

(山田会長)

それでは、決定の仕方について、私の方から提案させていただきますが、大変たくさんありますので、まずはじっくり1人で読んでいただき、その時にちょっとお隣同士で声を掛けでお話してもらって結構だと思います。いろいろと迷うと思いますが、2つから3つぐらいまずは絞られたらどうでしょうか。今、お話あったように地域に親しみのある全世代にわかりやすい愛称を選んでいただくと良いと思います。また、愛称に込められた思いや意味にも注目していただくと良い。ネーミングにより、市民の方が興味関心をもっていただける部分もあるんじゃないかなと。1人2~3に絞っていただきましたら、それを順に発表していくだけで、その中で皆さんから出されたものを聞きながら、おおまかに3つぐらいに絞っていきたいと思います。

そして、この中で今度は、最終的に投票で、とこういう順番で進みたいと思います。

(各委員) 2~3作品を選び発表。審議。

(事務局) 各委員からの選出作品から上位4作品を選出します。

①A案

②B案

③ときめっく

④C案

(山田会長)

では、この4つの中から1つだけ投票してください。

(事務局)

委員投票の結果、①A案2票、②B案3票、③ときめっく4票、④C案3票となりました。

(山田会長)

投票の結果、愛称は「ときめっく」となりました。この選定結果を事務局より市長に報告し、正式に決定します。

なお、この愛称は先ほど事務局が説明したように、後日発表されますのでそれまでは口外されないようにご注意いただきますようお願いいたします。

6 泉こども園の整備進捗状況について

(山田会長)

次に、次第の6 泉こども園の整備の進捗状況について事務局から説明願います。

(事務局)

資料3に基づき、泉こども園の整備状況について説明。

(山田会長)

このことについて、質問はありますか。→特になし

7 その他

(山田会長)

その他のことについて委員から特に何かありますか。加藤委員。

(加藤委員)

うちの法人のことで報告が2点ほどございます。まず1点目が、うちの花園保育園も子ども園化しようと、民間の保育園にもいろいろと聞きながら進めております。時代の流れが国全体、土岐市も含めて子ども園化に向かっているので、我々も幼稚園として希望されるお子さんを退園してもらわずにそのままお預かりできるように、現時点ではキャバは変わらずで、幼稚園部の子、保育園部の子としてお預かりできるような柔軟な保育の対応が出来ないかなということで申請を出す計画であります。

2点目です。今、あおぞら保育園で1、2歳児をお預かりしておりますが、最大80名という状態で実際80名で保育をすると現場としては非常に厳しいものです。とはいえ、今後イオンさんができるとしばらくの間、数年は土岐津町内は異例で子どもが減るということはなさそうなので保育の質を落とさずに確保できないのかということを考えまして、今、上田公園の横にちょっと古い建物なんですけど物件が1軒あります。そこを改装して12人までの小さい小規模園を設立して、0、1、2歳児を対象に設立をしたい、市と相談しながら進めて行ければいいと考えております。順調に進んで、改装のお金もかかりますのでそういうことをクリアしながら、来年度からできればいいなという思惑でいます。その計画だけ皆さんにご承知おきいただきたいと思いご報告させていただきます。以上です。

(福富委員)

ときつこども園園長の福富です。今日の感想だけ話したいと思います。

令和3年度子ども子育て計画進捗状況について、でございます。そこで妊婦健診について、マイナス1655。出生数の減少という説明がございました。私も県の方で会長を仰せつかっておりますので県庁で少子化委対策の会議にも出ております。年々、全国に少子化の波が押し寄せております。現在では、結婚しない男女も多いと。したくても非正規のために、就職が出来なくて給料がもらえない。そういうことで結婚できない。結婚している夫婦でも共働きで1人出生して子育てしていくのが精いっぱいだということで本当に出生数が減っている状態であります。全国保育協議会で、地域における保育所、保育士等の在り方検討会は昨年も続いています。新子育てプランの概要、令和3年から6年までの4年間で14万人の保育の受け皿を整備するということで、この全国保育協議会の調査では「子育て家庭の孤立」があり、母親自身が現在育った市区町村で子育てしているとの回答の割合は全体で27.8%、7割以上の母親は自分が育っていないまちで子育

てを行っているという状況です。また、近所に子供を預かってくれる人がいるとの回答割合は全体では 39.9%、6 割の母親が子供を預かってくれる人はいないと回答しています。今日、愛称募集で子育て支援の拠点ができるということで、今現在の家族形態、父親と母親そして息子夫婦は結婚しても住める家があっても結婚したら別のところに暮らす、と。

また、土岐市で育ったけれども東京や大阪、よそへ出て行ってしまう、と。また、子育ての仕方がわからない、というような方が多くおられます。

私たちの園に昔給食室であった物置があり、それを「多目室」として園内の子どものお母さん方の相談ごともこれからやって参りたいと思っています。以上です。

(小栗委員)

たけのこ園なんですが、以前の子育て会議で、低所得者の認可外の子の副食費を、出していただきたいう話をしてたんですけれども、市の方と県の方から出していただけることになり、本当に、外国人のご家庭で今ちょうど中国お仕事に行っての先でも、中国から部品が入らないから、仕事ないよって言われて休みとかっていう、最近そういうことが多いので、とても助かると思います。ありがとうございました。皆さまにご報告としてお伝えします。

(事務局)

コロナの影響にもよるかと思いますが、この子ども子育て会議について年 3 回程度開催したいと考えております。次回は先ほど加藤委員からお話しいただきました小規模園の設立についてを承認していただくことにより、計画の変更が予想されますので、まだ検討中ですが、日にちが近づきましたら、ご案内の通知をしますので、出席についてよろしくお願ひいたします。

(山田会長)

ありがとうございました。これで議事はすべて終了となります。終わったあと、立ち話でもいいので委員の皆さんには、情報交流もぜひ有効に使っていただけすると良いと思います。

では、事務局お願いします。

(事務局)

以上をもちまして、第 22 回子ども子育て会議を終了させていただきます。

ありがとうございました。

16 時閉会